

⑦

手掘石油井戸

新津丘陵の各地には、最近まで手掘りの石油井戸が多く残されていたが、山に入るのに危険なため、その大部分を埋め戻した。そのうち田家の熊沢地区に残されていた一本を、転落防止の擬木柵で囲み、さらに上部を鉄棒で覆って保存してあります。

新津で手掘りによる石油の採掘が盛んに行われるようになったのは、明治時代に入ってからで、この井戸は明治10年頃に掘られたものと推定されます。深さは27メートル、上総掘りや機械掘りが行われる以前の、石油産業史の資料として、帝国石油株式会社から新津市に寄贈されたものです。

現在では、井戸の中の土留用桝木や桝板は朽ちてなくなっていますが、新津市に現存する唯一の手掘石油井戸として、大変貴重なものです。

自主学習グループ コーナー

秋葉クラブ

「新津市から全国大会出場!!」を目標に、市内婦人バレーボールの各チームの代表が参加し、平成4年に秋葉クラブとしてスタートしました。

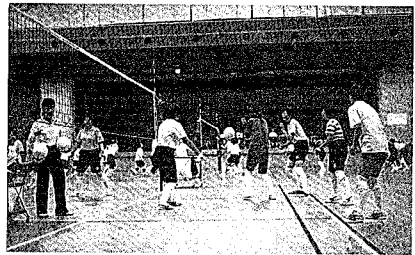
バレーボールが大好きで、練習の後みんなで「いい汗かいたね」と言えるような練習をやっているのですが、まだまだ全国への道は遠い道のりです。しかし、へこたれることなく一步一步前進していきたいと思っています。

それにはメンバーが足りません。そこで秋葉クラブではメンバーを募集しています。バレーボールが好きな人、プレーを磨きたい人、自分の力を試したい人、それぞれの目的を持って集まって、みんなで秋葉クラブを作っていけたらと思っています。

練習日は、毎週火曜日午後7:30～阿賀小学校です。バレーボールに情熱を持った皆さんを待っています。

●問い合わせ先

草水1-13-12 荒木久美子(☎22-5220)



市民文芸

短歌

背広着て米寿の席に坐る肩背すじ伸びるて喜寿のごと見ゆ

心まで老い込むなかれと友達のはげまし受けて和む日々なり

雪を被て木の芽ほのかに紅をもつ

俳句

傘寿の師すこやかに祝ぐ年はじめ

乱気流縫って帽子の一人立ち

川柳

水加減下手でストレスためている

松井トシ(本町四)

服部照子(満願寺)

諸橋十子(金沢町二)

佐々木ヤス(善道町一)

野村雅子(北上二)

山田利子(大鹿)

鉄道

資料館だより ⑫



自動連結器の一斉取替

昔の車両の連結方法は、鉄の鎖のついたラセン式連環連結器で車両の右・左がメス・オスになっていました。取扱いには、多くの労力を要し作業は危険で、入換え作業で多数の死傷者が出ました。

国鉄では改良に取組み、大正九年から五年間周到な準備をし、大正十四年七月工場検車所・機関庫の従事員を総動員して機関車三千二百両、客車八千九百両、貨車五万二千両を自動連結器に取替えました。今も鉄道界の語り草になっている空前の大事業でした。

写真は、その作業中のものです。古いラセン式は、今もヨーロッパの国際列車などの一部に使われているということです。

